

# 高等学校における支援、本校での実践「職業」

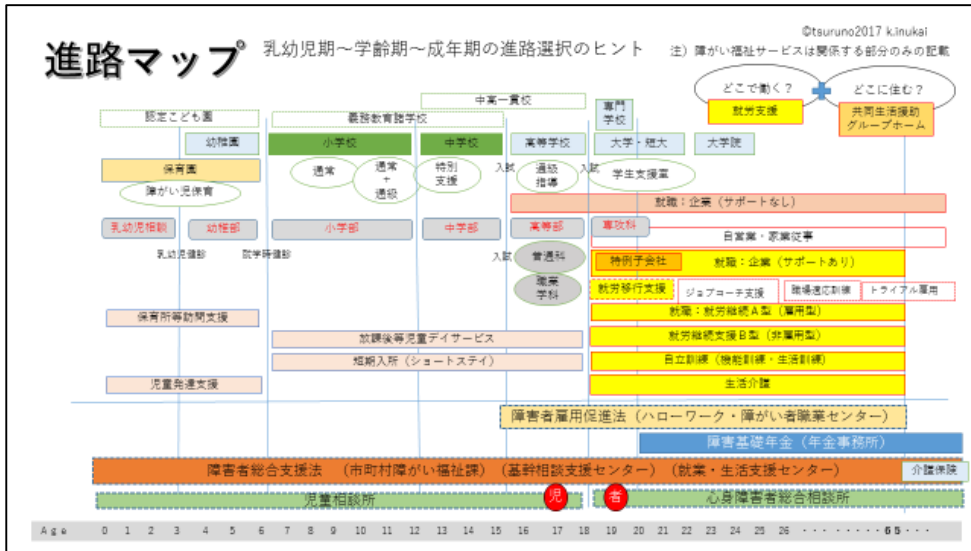
北海道釧路鶴野支援学校 教諭 犬養浩一郎

## 1 はじめに

平成 27 年度より釧路管内の高等学校（担当校数 9 校）への支援に取り組んでいます。高等学校の支援で活用した資料の一部や本校の授業で使用した教材をご紹介します。

## 2 高等学校における支援

### (1) 「進路マップ」を活用した支援



高校卒業後の進路の現状を1枚のシートにまとめ、懇談時の支援に使用する。年齢に合わせてこれまでの教育歴の確認、現状の就労に向けた福祉サービス制度の説明などの情報を見やすく提示することができる。青年期以降の生活イメージを考えるツールである。

### (2) 「よさ発見シート」を活用した支援

学習場面

よさ発見シート

よさを書き込みましょう！ 教科ごとに記入 教科担任からの評価も記入！

国語科	数学科	地域科 公民科	理科	外国語科	芸術科 ( )	家庭科	情報科	保健 体育科	選択 教科	特別 活動	総合的 な学習

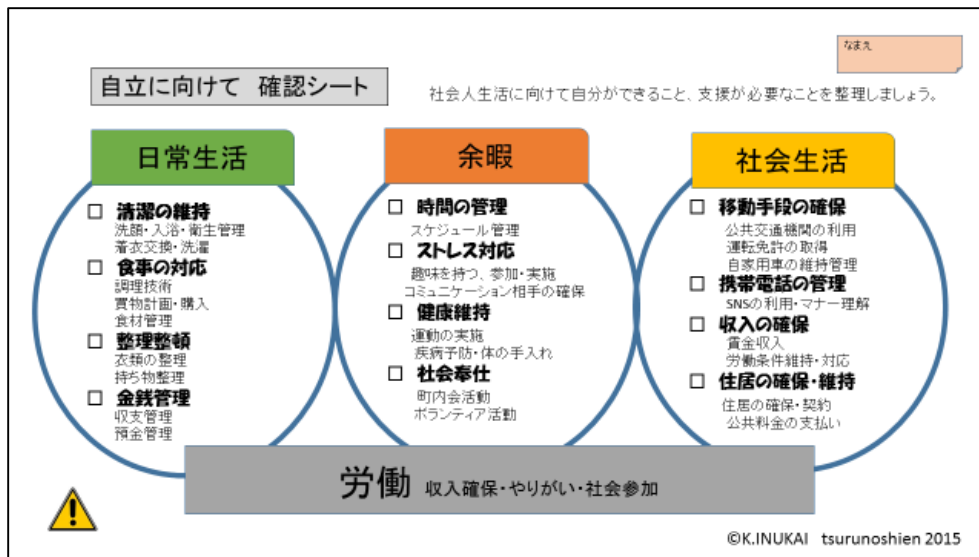
整理:共通する内容(よさ)

学習場面でのよさ

©K.INUKAI tsurunoshien 2015

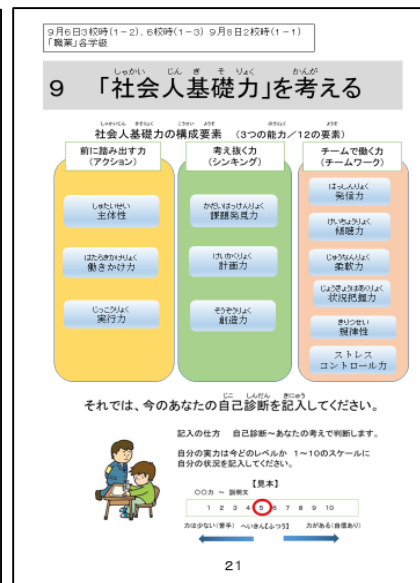
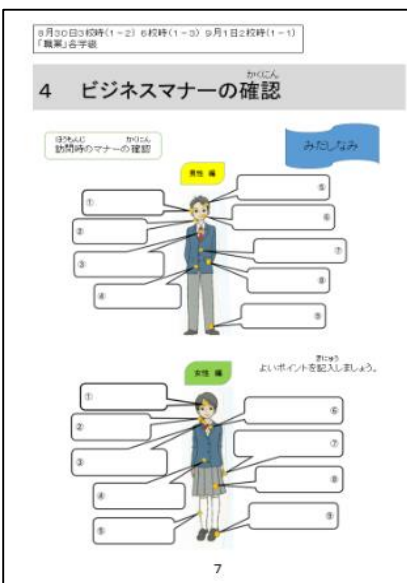
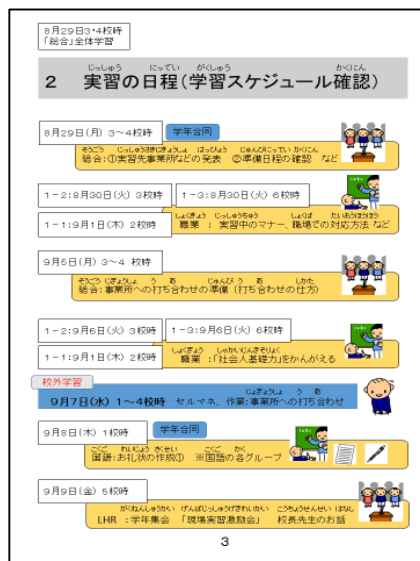
いろいろな授業場面での生徒の情報共有を目的に「回覧板型」で情報整理を行うためのシートである。できないことの観察ではなく、肯定的に生徒観察を行ない、ポジティブに授業で活動ができるヒントを指導者間で共有することで授業の改善のヒントを見つけるツールである。

(3) 「自立に向けて確認シート」を活用した支援



高校での進路指導の経験から学習のスキル以外に必要な自立が成立するポイントをまとめたシートである。個別面談などで状況確認や生活準備の確認などで活用できる。「ライフスキル」の重要性を考えるきっかけを持つツールである。

3 本校での実践「職業」



本校高等部（知的障がい教育部門）では、教育課程の中に「職業」を設置している。

「職業」の授業では、現場実習にむけた事前の学習内容を整理し、共通教材として教科書を作成し配布する。

冊子化したことで関連する学習内容が整理され、生徒・指導者ともに学習の見通しを持つことができる教材となっている。

生徒の障がい特性に応じて、ルビをつける、視覚化した説明や図を多くするなど合理的配慮に対応した教材として編集されたものである。

※PowerPoint で作成、編集資料は一部のみ掲載

#### 4 これまで勤務した5校での実践

学校名	勤務年数	主な実践内容
北海道美深高等養護学校	平成元年～ (5年)	初任校として初任として担任業務のイロハ、全道を広範囲にカバーした進路指導(障がい者雇用など)のノウハウを学ぶ。
北海道七飯養護学校 おしま学園分校	平成6年～ (6年)	自閉症児指導の専門スキル(TEACCHプログラムなど)の大切さやおしま学園などコロニー内の各福祉施設との連携のあり方を学ぶ。
北海道白糠養護学校	平成12年～ (9年)	併設する白糠学園と連携した肢体不自由児の教育のあり方を学ぶ。また、学生時の教育実習校で教職を志すきっかけになった学校でもある。
北海道白糠高等学校	平成21年～ (6年)	高等学校におけるユニバーサルな授業づくりによる教科指導の重要性と難しさを学ぶ。また、発達障がいのある生徒の生徒指導、進路指導の在り方を学ぶ。 特に、就職指導の研究では教育局、ハローワークと連動した指導・支援体制について学ぶ。
北海道釧路鶴野支援学校	平成27年～ (3年)	これまでの各校における実践で学んだ経験、知識などを活用して、釧路管内の高等学校における特別支援教育の充実を目指した支援を行う。

#### 5 おわりに

これまで多くの方々にご指導いただき実践を積み重ねてくることができました。厚く感謝を申し上げます。これからもさらに実践研究を深め日々の取組みを進化させていきたいと考えております。

(2018年2月 作成)